

1. 科目名 (単位数)	基礎演習Ⅱ (1単位)	3. 科目番号	GEBS2108
2. 授業担当教員	三好 香次		
4. 授業形態	演習、発表、グループ討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	統計学を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	<p>心理学は科学として在ることを示すことで生まれ、また経験と実践の学としても積みあげられてきている。学問としての心理学を学んでいくにあたり、心理学的なものの方や考え方を養うことは欠かせない。これは、先人の研究成果を正確に読み取り、自身の意見を論理的に組み立てることであったり、臨床心理学的な観点から人間理解を深めることであったりする。</p> <p>本講義においては、心理学の専門的内容を学び始める準備として、心理学の基本的なテーマを取りあげながら、基礎的な知識を身につけると同時に、学問としての心理学の視点・観点を身につけることをねらいとする。講義においては演習や議論、発表を通して、知識と同時に体験的な理解を深めていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 心理学的なものの方や考え方を体験的に身につけていく。</li> <li>2 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学ぶ。</li> <li>3 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養う。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	講義内容に応じたアサイメントが課される。各回の事前・事後学習を十分に達成してから講義に臨むこと。詳細については授業時に説明をおこなう。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 板口 典弘・山本 健太郎 『心理学レポート・論文の書き方：演習課題から卒論まで』 講談社</p> <p>【参考書】 木下 是雄 (原作) 久間月 慧太郎 (作画) 『まんがでわかる 理科系の作文技術』中央公論新社。 松井 豊 (著) 『改訂新版 心理学論文の書き方ー卒業論文や修士論文を書くためにー』河出書房新社。 日本心理学会 『執筆・投稿の手引き』日本心理学会 <a href="https://psych.or.jp/manual/">https://psych.or.jp/manual/</a></p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)心理学的なものの方や考え方を体験的に身につけることができたか。</li> <li>2)心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学べたか。</li> <li>3)自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養えたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加や発言)50%、試験にかわる課題レポート50%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>心理学論文の輪読を通じた心理学の基礎知識の習得や、「心理学実験」等の今後のカリキュラムにおけるレポート作成の前提となる知識・技術を身につけることを重視した授業です。文章を書くことや心理学実験レポートの体裁を学ぶことを意識した内容になります。1年次の「文章表現」や「心理学統計法」の講義内容を復習してから臨んでください。なお、皆さんの理解度・達成度によって講義内容を変更する場合があります。</p> <p>わからないことについては、質問を歓迎します。なお、演習の課題への取り組みを評価しますので、欠席・遅刻・早退や、内容に関連しない私語、居眠り、無断での退室、その他の理由による不参加等は減点の対象となります。また、授業と無関係の理由による携帯電話の使用は厳禁とします。</p>		
13. オフィスアワー	授業内で提示します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション： 研究レポート(研究論文)とは	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第2回	体裁・書式・型について	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第3回	体裁を整えよう	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第4回	問題の要点	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第5回	問題をまとめよう(1)	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第6回	問題をまとめよう(2)	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第7回	引用文献の要点	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第8回	引用し、引用文献をリストにしよう	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第9回	方法の要点	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第10回	方法をまとめよう(1)	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第11回	結果の要点	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。

		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第12回	結果をまとめよう	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第13回	考察の要点	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第14回	考察をまとめよう(1)	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。
第15回	考察をまとめよう(2)	事前学習	必要な予習を済ませて授業へ臨む。
		事後学習	講義内の指示にしたがう。